



2024年10月11日

各 位

会 社 名 株式会社ひかりホールディングス
(コード番号 1445 TOKYO PRO Market)
代 表 者 名 代表取締役社長 倉地 猛
問 合 せ 先 取締役経営管理本部長 立川 征吾
T E L 0572-56-1212
U R L <https://www.h-holdings.jp>

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年4月16日に公表した2024年8月期通期の連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1)2024年8月期 通期連結業績予想数値の修正(2023年9月1日~2024年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2024年4月16日公表)	百万円 5,065	百万円 124	百万円 140	百万円 96	円 銭 382.12
今回修正予想(B)	5,274	57	76	28	110.89
増減額(B-A)	209	△67	△64	△68	—
増減率(%)	4.1	△53.9	△45.7	△70.8	—
(ご参考)前年同期実績 (2023年8月期)	3,603	△23	△33	△77	△303.76

2. 修正の理由

2024年8月期の通期連結業績予想について、売上高は前回発表予想を上回る見通しとなりました。エムエイトアイ(株)〈電気通信工事業〉がおこなっております基地局設置工事の受注が好調に推移したことに加え、小林工業(株)〈土木工事業〉においては、大規模な公共工事(公園グランド造成工事)が竣工しました。また、2023年6月にグループ化しました輝龍

(株)〈総合改修工事業〉につきましても、大規模修繕及び、新築マンションの元請工事を受注するなど当初想定した水準を上回って推移したことに起因しております。

営業利益及び、経常利益は前回発表予想を下回る見通しとなりました。(株)ひかり工芸、(株)ケイズクラフト〈タイル・石材加工販売事業〉につきまして、コロナ禍で外国人研修生の受け入れが困難となり、一時期、工場内の労働者が不足しておりました。新型コロナウイルスが5類に移行した後、新たな外国人研修生を迎え一定の労働者は確保できましたが、品質・納期などのオペレーション教育に時間を費やした事で、予算通りに売上を伸ばす事が出来ず、販売管理費も膨らんだ事で、営業損失を計上する見込みとなりました。その結果、連結決算においても営業利益を下方する見通しとなりました。なお、経常利益につきましては、2024年4月16日に開示しました「営業外収益（匿名組合投資利益）の計上に関するお知らせ」に記載しているとおり、(株)セラミックワン〈建築建材事業〉が匿名組合投資利益45,511千円の営業外収益を計上しておりますが、連結決算の営業利益の修正により、経常利益も当初予算より下回る見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益も前回発表予想を下回る見通しとなりました。前述のとおり経常利益の修正に加え、主に(株)ひかり工芸の繰延税金資産が17,899千円減少、投資有価証券評価損1,052千円、各種会員権の評価損5,210千円の特別損失を計上した事に起因しております。

以上の理由により、前回発表の通期連結業績予想を修正いたします。

3. 配当予想

当社は、中長期的な企業価値の向上が株主の皆さまに対する最大の還元につながる判断した結果、経営基盤強化を目的とし、内部留保の充実を図るため無配とさせていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、何卒ご理解頂きます様、よろしくお願い申し上げます。

※本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び、合理的であると判断する一定の前提に基づき、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以 上